

2025(令和7)年度 入学試験問題

東大・医進クラス 2月1日 AM

国語

注意

- (1) 指示があるまで表紙を開かないこと。
- (2) 問題および解答用紙の両方に受験番号・座席番号を記入すること。
- (3) 声を出して読まないこと。
- (4) 解答は全て解答用紙の所定の欄に記入すること。

受験番号					
座席番号					

解答用紙の受験番号欄は、1マスに1つずつ数字を記入してください。

※問いに字数指定がある場合は、句読点なども一字として数えます。

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「あの、今日途中まで一緒に帰りませんか？」

千風くんはきょとんとしてから、大きな写真集を抱え上げる。

「じゃあちよつとこれ借りてきます。そしたら、帰れるんで。」

写真集を手にした千風くんと、貸出手続きをするカウンターに向かっていると、

「すみません。ちよつと、あそこに怪しい人がいるんですけど。」

不穏な言葉が耳に飛び込んできた。

思わず、私たちはその声のほうを振り向く。

ベビーカーを押す女性が、図書館員さんに向かって訴えているところだった。

「怪しい人？ どうされましたか。」

「あそこの絵本コーナーで、さつきから中年男性が一人でウロウロしてるんです。お子さん連れじゃないみたいだし、何だか怖くて……。」

「分かりました。確認しますね。」

図書館員さんは緊張感のある表情でうなずいている。

「不審者だつて。ぶつそうだね。」

苦笑いで、チラッと絵本コーナーに目を向けたとき、私は固まった。

⑫ ナイチンゲール……！

絵本コーナーには、図書館キャラクターの大きなネコのぬいぐるみが椅子に座っている。それと向き合うようにじつと見つめているのは、わが家の父親だった。

ちよつとずつ立ち位置をずらして、ぬいぐるみをいろんな角度から眺めている。

キモい。怪しすぎる。

⑬ 普段家で見ている父親は、こうして引いた場所から見るとナイチンゲールなんかじゃない。ただの怪しい中年男だった。

図書館員さんが遠巻きに父の様子を窺っている。ただぬいぐるみを見ているだけで問題行動はしていないから、声をかけないみたいだ。

「あの人か。」

千風くんがつぶやく。

こうなったら、他人のふりをする。

「早く行こ。」

千風くんを促して背を向けたとき、

「あれ、真歩ちゃん！」

一番聞きたくない声が降りかかってきた。

「真歩ちゃんも図書館来てたのか。あ、そういえば今日はボランティアって言って出かけていったよね。」

父の声が近づいてくる。

① 振り返らない。いや、振り返れない。ただ、耳が熱い。隣の千風くんを見ることができない。

「おーい、真歩ちゃん？」

私はその場から駆け出した。

自動ドアを通り抜け、自転車のスタンドをガチャンと外す。セミの声の降り注ぐ道を全速力で漕いだ。

終わった。もう終わった。

きつと千風くんに気持ち悪がられた。不審者扱いの父も、他人のふりをした私も。

恥ずかしくて、千風くんとはもう一生顔を合わせられない。図書館にも行きたくない。

今日のこと、千風くんは伶来に話すかな。「あいつの父親やべーよ。」とか笑ったりするのかな。それで伶来にまで嫌われたらどうしよう。

きつと、図書館員の人たちの間でも、あの怪しげな人が私の父親だつてことが知れ渡ってしまう。

家に駆けこむと、畳んだ布団に体をうずめた。

うつと嗚咽が漏れる。

「もうやだ。何だよ、何なんだよ。」

どうして父は私の大事なものを壊すの？

憧れの書道部も、新しく見つけた居場所も。父は悪気なく、ふにやふにやした顔でぶつ壊してくる。

「ふざけんな、クソじじい……。」

母は『傷心のナイチンゲールをこれ以上傷つけてはいけない』なんて言うけど、もう限界。こっちの心が傷だらけだ。

スマホの通知音で目が覚めた。いつの間にか、布団に寄りかかって眠ってしまっていたみたいだ。夕方四時。昼ご飯も食べないまま三時間も寝ていたらしい。

重い気持ちを引きずったままスマホを見ると、表示されているのは伶来の名前だった。恐る恐るタップすると、何枚もの画像が届いていた。

「え……。」

写っているのは、全部ネコ。図書館の絵本コーナーにあった、あのネコのぬいぐるみだった。

書架と書架の間を散歩しているような一枚。

絨毯の上で開いた絵本を読んでいるような一枚。

図書館のカウンターに佇んでいるような一枚。

書架からチラッと顔を出して、かくれんぼしているような一枚。

「わ、生きてるみたい……。」

思わず頬がほころぶ。

でもこれを伶来が送ってくるってどういうこと？

見入っていると、スマホがもう一度ピコンと鳴った。

【千風から画像送ってって頼まれたから送るね。

真歩と、お父さんにだって】 16…03

「千風くんが……？」

胸がぎゅつと熱くなった。

千風くんは私の連絡先を知らない。だから伶来に頼んだんだ……。

②【千風くんから、今日のこと聞いた？】 16…05

【なんにも。だからよく分かんない。

何でぬいぐるみの写真？】 16…06

逆に伶来から尋ねられた。

千風くんは伶来に何も話してないんだ……。図書館で会ったことも、うちの父が不審者に間違われたことも。

画像に込められた気持ちを知りたくて、私は耳を澄ますように画像たちを見入る。

言葉がなくても、伝わる気持ちはある。

私はスマホを握ったまま、廊下へ出た。

リビングには誰もいない。父は？

何気なく玄関を見やると、大きなビニール袋が置いてあった。

何かゴミ出すのかな。その中身を見て、息が詰まった。

クマ、キツネ、ウサギ、カメ、アライグマ。

半透明の袋の内側につまっていたのは、父の部屋にいたぬいぐるみたちだった。ビニール袋の口はギュツと縛られて、まるで彼らは窒息

しそうに見えた。

につこり笑ったままこちらを見つめるアライグマと目が合って、背筋がヒヤツとした。

「お父さんっ？」

ばんつと両親の寝室のドアを開けた。

「ああ、真歩ちゃん。そろそろ夕飯の買い物に行かなきゃな。部屋の片づけ始めたら、時間かかっちゃってさ。」

「片づけって……。あの玄関のぬいぐるみ、捨てるの？」

「ああ、うん。」

父は、いつもの笑顔でうなずいた。

「今日は、ごめんね。実は図書館にビジネス支援コーナーっていうのがあるって聞いて、何か再就職のヒントになる本がないかなって探してたんだ。その帰りに、見覚えのあるぬいぐるみがあるから、つい気になっちゃって。あのネコのぬいぐるみ、僕が小さいころからあったんだよ。図書館がリニューアルしても、長年大事にされてるんだなあと思って。でも、男が一人でぬいぐるみをじっと見てたら怪しいよな。僕、不審者に見えてたんでしょ？ 真歩ちゃんが逃げた後、周りの視線で気づいたよ。恥かかせちゃって申し訳なかったな。」

ぬいぐるみがなくなってがらんとした戸棚を拭きながら、父は言った。

③「ぬいぐるみは卒業する。四十年遅かったけど。」

「お父さんの趣味なくなっちゃうじゃん。」

「新しい趣味を見つけるよ。年相応のおじさんらしい趣味。釣りとかやってみようかな。」

その前に仕事か、と父は独り言ちている。

私はスマホの画面を父に向けた。ネコが散歩しているようなあの一枚だ。

「これ見て。」

「どうしたの、この画像。」

「あのとき、私と一緒にいた男子がいたでしょ？ あの子が送ってくれたの。お父さんに見せたいって。何枚もあるから、スワイプして全部見てよ。」

「あの子が……？」

「その写真を見る限り、その子は、お父さんのこと、気持ち悪いとか思っていないと思う。」

「そうでなかったら、わざわざ撮影してプレゼントなんかしない。」

「不審者扱いされた父のため、恥じていた私のため。千風くん、きつと励まそうとしてくれたんだよね？」

「すごい。本物のネコみたいだ……。」

父の頬がほころんだ。

「捨てなくてもいいんじゃないの？ お父さんのぬいぐるみコレクション。」

私はぶつきらほうに言った。

高校に通わない十六歳がいるように、ぬいぐるみが好きな男の人がいたって別にかまわないのかもしれない。

そばに分かるうとしてくれる人がいるのなら。

「ねえ、今日の夕飯、食べたいものがあるんだけど、買ってきていい？」

私は会いたい人の顔を思い浮かべながら言った。

伶来に連絡すると、千風くんは家にいると教えてくれた。夕方六時にBの前に来てもらうように頼んだ。

自宅部分の二階から下りてきた千風くんは、さつきと同じ服装だけどカメラは提げていない。

自分から呼び出したのに、どうしようとした心でうろたえる。

「さつき、いきなり逃げちゃってごめん。」

「ああ。」

「画像、ありがとう。あれ、どうやって撮ったの？」

「その後、図書館の人に許可もらって撮ったんだ。真歩さんのお父さん、ぬいぐるみ好きそうだったから。写真にすれば、家でゆつくり見られるでしょ。」

図書館でぬいぐるみのアングルを思案しながら撮る千風くんを思い浮かべてみた。

「ごめん。ぬいぐるみ撮るの、恥ずかしかったよね……？」

申し訳ない気持ちでいっぱいになる。

「気にしないで。」

「でも。」

「ネコ撮るの、慣れてるから。」

「……………」

照れくさそうに笑う千風くんを見て、なぜだか涙が出そうになった。

恥ずかしくないわけじゃないよ。私がいも男子だったら、一人でぬいぐるみ撮影をする勇氣なんてない。もし学校の知り合いに見られたら絶対イヤだし。

それなのに、千風くんはそんなふうに言ってくれるの？

⑤「おれ、英語の成績が五段階で二なんだ。」

「え？」

いきなり何の話？

「アラビア語どころか、英語も苦手。こういう顔だから英語しゃべれるって周りに思い込まれがちで。でもトルコってあんまり英語通じないし、そもそもおれ生まれたときから日本育ちだし。だからっていうか、自分は周りを決めつけないって思う。トルコにネコ好きなおじさんなんていっぱいいる。だから、ネコのぬいぐるみが好きなおじさんがいてもいいんじゃない。うまく言えないけど、おれはそう思いたい。」

初めて見た千風くんの笑顔は、私の胸のなかに明かりを灯した。

「……ほんとに、あ。」

りがとう、と続けようとして、あのアラビア語を思い出した。

「シュ克蘭。」

一音ずつに気持ちを込めて、私は千風くんの手を振った。

Bで四人分のお弁当をテイクアウトして帰る途中、私は宝ものを持ち帰っているような気がした。

ふと船島さんの金継ぎの本を思い出す。

『一度傷ついたからこそ輝けるっていうのが素敵じゃない。』

あのとき船島さんが言っていたのは、『 a 』のことわざ。

アラブと違って、日本で雨はマイナスなイメージが強い。それでも、降ってよかったと思える雨もあるのかもしれない。

もしも、影山高校に通って順風満帆なもう一人の自分が目の前に現れたとしても、私はきつと今の自分に胸を張れる。

だって、出会えてよかったと思える人たちがいるから。こんな優しさを知ることができたから。

(注) ナイチンゲール―結婚前、体調を崩した母を手厚く看病した父に、母がつけたあだ名。

(こまつあやこ『雨にシュ克蘭』による)

問一 ――線A～Cの本文中の意味として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

A ぶつきらぼうに

ア 消極的に

イ 愛想なく

ウ あいまいに

エ 遠慮なく

B うろたえる

ア 申し訳ない気持ちで、気分が落ち込む

イ 早く何か言わなければと、いらだつ

ウ ぼうつとしてしまい、考えがまとまらない

エ 何と言って良いかわからず、あわてふためく

C 順風満帆な

ア 人生が思い通りに進んでいる

イ 計画性を持って歩んでいる

ウ 自信に満ちあふれている

エ 夢に向かって努力している

問二 ――線①「振り返らない。いや、振り返れない。ただ、耳が熱い。隣の千風くんを見ることができない。」とありますが、このときの真歩の心情を説明したものととして適切なものを次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

ア 父親を無視している自分が千風に気持ち悪いと思われているのではないかと、千風の気持ちを知らるのが怖い気持ち。

イ 千風と帰ろうとしたところで父に話しかけられ、千風との二人きりの時間が妨害されて不愉快な気持ち。

ウ 千風が自分の父親へ不信任を抱いたのを感じ、千風の信用を取り戻すためにはどうすれば良いかと迷う気持ち。

エ 父親への不満をぶつけるように父親を無視していることを千風に見透かされているような気がして、焦る気持ち。

オ 図書館に現れた不審な男の正体が自分の父親であるということを知られてしまい、恥ずかしい気持ち。

問三 ――線②「千風くんから、今日のこと聞いた？」とありますが、真歩がこのように尋ねたのはどうしてですか。わかりやすく説明しなさい。

問四 ――線③「ぬいぐるみは卒業する。」とありますが、どうしてですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

ア 自分の趣味のせいで娘に恥をかかせてしまったことへのうしろめたさから、今までの自分と決別する必要があると思ったから。

イ ぬいぐるみ好きのせいで不審者に疑われたことが恥ずかしくなり、このままではまた不審者扱いされてしまうと思ったから。

ウ 今までは家庭を顧みることなく趣味に没頭してきたが、これからは家族のことを第一に考えて生きていこうと思ったから。

エ 長い時間かけて集めてきたぬいぐるみを捨てることで、過去の思い出を一掃して新たな気持ちで就職活動にのぞもうと思ったから。

問五 ――線④「……………」とありますが、このときの真歩の心情を説明したものととして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 私と父を心配してぬいぐるみの撮影をしてくれた千風の優しさを感じる一方、周囲の視線ばかり気にしていた自分の小ささを痛感し、何も言えなくなっている。

イ 私と父のためとは言え、他人に見られながらぬいぐるみの写真を撮ることは恥ずかしいことなのに、世間の視線に屈せず堂々としている千風に憧れている。

ウ 年頃の千風が他人の視線にさらされながらも私と父のために写真を撮り、私が負い目を感じないように気づかってくれた優しさで胸がいっぱいになっている。

エ 周囲の視線をかえりみず、私と父を思ってぬいぐるみの写真を送ってくれた思いやりのある千風に、気を遣わせてしまったことに後悔の念を抱いている。

問六 ――線⑤「おれ、英語の成績が五段階で二なんだ。」とありますが、どうして千風は英語の成績の話を始めたのですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

ア 罪悪感を抱きながら懸命に涙をこらえている真歩の悲しみをどうにかまぎらわせようと、自分の経験談を話すことでなんとか笑ってほしいと思ったから。

イ 英語が得意そうな見た目をしているのに実際は苦手ということを意中の相手である真歩に知られたら失望されてしまうと思い、そのなる前に自分から正直に話そうと思ったから。

ウ 外見のために誤解されてきた過去を持つ千風は、自分は人を見た目で判断したくないという思いから、父の趣味を恥じる真歩の気持ちに寄り添いたいと思ったから。

エ 見た目のせいで勘違いされてきた自分と、中年男に相应^{ふさわ}しくない趣味を持つ真歩の父親に共通点を見出し、現代ではどんな趣味や個性でも誇り^{ほこ}を持って貫くべきだと思ったから。

問七 a に当てはまることわざとして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 雨だれ石をうがつ

イ 雨降って地固まる

ウ 雨後のたけのこ

エ 雨が降ろうが槍が降ろうが

問八 本文中の登場人物を説明したものとして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 不審者に間違われた真歩の父は、自分が不審者でないことを周囲に理解してもらうためにわざと真歩に話しかけた。

イ 真歩は父が趣味を卒業すると聞いて喜んだが、袋づめにされたぬいぐるみと目が合い、恐怖心を抱いた。

ウ 写真が趣味の千風は、真歩が自分の写真を見て感激したことから、自分の撮影技術に自信をもてるようになった。

エ 図書館から帰ってきた真歩は、今までためこんでいた父への不満を抑えきれず、部屋に入り泣いてしまった。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

わたしは登山が趣味でよく登る。山道で出会う人は、たいがいほえんで「こんにちば」とあいさつしていく。軽く頭を下げてあいさつだけを交わす人もいる。ときには「暑いですね」とか「もうすぐですよ、がんばってください」などと続くこともある。「頂上まであとどのくらいですか」と聞く人もいる。ベンチのある休憩場では、しばらく話の花が咲く。その会話はあたりさわりのない内容で、発声には感情的な高ぶりがなく、声のトーンも平靜である。このような見ず知らずの人とのあいさつは、石器時代から現代まで連綿と続けられてきたに違いない。

あなたのいるところへ知らない旅人がやってきたとしよう。一本の踏み分け道で、あなたはその人とすれ違わなければならない。もしその人が目を据えてあなたを見つめ、おまけに口を大きく開けて歯をむき出したらどうだろう。あなたは敵意を感じて身構えるのではないだろうか。攻撃するか逃げるかを判断するため、相手の力量を見定めなければならない。これは二ホンザルの雄がよその集団の雄と出会ったときにする行動である。①このやりとりは敵対的な関係をとりもつ攻撃とか防御に分類される。アドレナリンが血中に大量に分泌され、心拍数や血圧も上がり、a も高ぶることだろう。

I I、あなたの顔を見て、なぜか「わっはっは」と大口を開けて笑ったり「ぎゃー」と奇声を上げたりしたらどうだろう。そうではなく、ぶすつとして横目で見たり、口をへの字に結んだりしたら？ あなたは相手の意図をはかりかねて、恐怖にかられるのではないだろうか。あるいはけしからんやつだと腹を立て、「なにするんだ？」と詰問するかもしれない。いずれにせよ、相手の行動が、見ず知らずの人との出会いのときに予測されるものと違っているため、恐れを感じるのである。やはりアドレナリンが分泌され、危急のときに見られる各種の反応が起こるだろう。

また、見知らぬ旅人があなたに出会ったとき、あいさつ抜きに抱きしめてキスしたとしたらどうだろう。これらは愛の関係に見られる行動なので、知らない者どうしが出会ったときには使わない。使うべきでない行動をしたら、それはルール違反になる。つまり、痴漢という罰すべき犯罪だと判断されるのである。関係ごとにそれをとりもつ行動が決まっている。その関係にそぐわないルール違反の行動をとれば、うまく意図が伝わらないばかりか、攻撃ととらえられて反撃される危険が大きいのである。

「あいさつ」は、敵意がないというメッセージを相手に伝える信号であると同時に、そのあと平靜な気分がbができるように準備するはたらきがある。このような次のコミュニケーションの場を確保するためのコミュニケーションを「メタコミュニケーション」と呼んでいる。見知らぬ人との「あいさつ」のあとに続くやりとりは、敵対的でもなく親和的でもないのがふつうである。II 声のトーンも平靜になる。つまり、「あいさつ」は許容関係をとりもつ行動で、その関係を確認する意味をもつものなのである。

「あいさつ」のやり方は文化によってさまざまだ。握手をする民族があれば、頭を下げる文化もある。その現れはさまざまとしても、あいさつすること自体は世界のどの民族にも共通している。これは、あいさつがヒトという種に遺伝的に組み込まれたコミュニケーションの道具であることを示している。^③石器時代においても、旅人が、よその集団^④の人に出会ったら、ほほえみを浮かべつつあいさつしたに違いない。ときには言葉が通じないこともあるだろうが、それはたいした問題にはならない。とにかく相手の目を見て、平静な気持ちでいることを示す穏やかな低音を発し、ゆつくりとさりげなく片手をあげたりする。このように、旅人とのやりとりは、敵対的でも親和的でもない、ニュートラルなものである。

図5-1の写真(省略)は、ネパールで出会った少女である。当地のあいさつの言葉で「ナマステ」といいながら、はにかみながら手を合わせ、わたしにあいさつしてくれた。この国の人びとはチベット仏教を信仰して敬虔深く、よその人を温かく迎えてくれるのである。「あいさつ」をするとき、たいがいのは顔に「ほほえみ」を浮かべる。初対面の人とコミュニケーションをはかりたいとき、あるいは敵意がないと知らせるときには、とりわけ「ほほえみ」が有効である。世界のどの民族にも見られるので、ヒトという種に共通した行動だといつてさしつかえない。たいがい会話が始まる前には「ほほえみ」がある。空港や駅のチケットカウンターやホテルのフロントの人は、たいがいこやかにほほえんで応対してくれる。^④アメリカのハンバーガーチェーン、マクドナルドでは、ちゃんと「スマイル」がマニュアルに書いてあるそうだ。もつとも、わたしがかつて北京を訪れたとき、ホテルのフロントで、フロントマンが職員と話し込んでいて長時間待たされたうえに、仏頂面をして横柄な態度で対応され気分を害したことがある。これもフロントマンの行動がわたしの思うルールからはずれていたから、攻撃的な感情がわいたのである。「ほほえみ」は、だれかとコミュニケーションしようとするとき、自分は敵意がないということを示し、これに続くコミュニケーションを可能にするはたらきがあるのである。

エソロジー(動物行動学)に勢いがあつたころ、「ほほえみ」がどんな行動から進化したのか、さかんにディスカッションされた。大口を開けて「はっはっはっ」と息を切る「笑い」はサル^⑤の威嚇の表情に似ている。そのことから嘲笑のような攻撃的行動から進化したといわれた。一方「ほほえみ」は、似た行動がサルには見つからない。そのはたらきから見て、サルの「遊び顔」がその起源なのではないかといわれた。「遊び顔」というのは、サルの子供たちが遊ぶときに見せる、目はあまり見開かず、歯を見せない程度に口を軽く開ける特有の表情である。これは「追いかける」「逃げる」「取っ組み合う」といった乱暴な遊びをするとき、「敵意がないんだよ、これは遊びなんだよ」というメッセージを伝える信号である。「遊び顔」をすることによって、乱暴な行動があつても、それはいいじめやけんかではなく遊びだと伝えるのである。ヒトでいえば、小さな子供たちがぐるぐる追いかけっこをしているとき、「キャッキヤ」と楽しげに笑う表情に相当するのかもしれない。

Ⅲ 似通ったはたらきをする表情があつたにせよ、ニホンザルは見知らぬ者と出会ったときに「遊び顔」は決して見せない。そのかわり「口を開いて犬歯を誇示する」といった威嚇の表情や、口をもぐもぐさせる「リップスマッキング」などの宥和の表情をみせる。そ

してヒトの「ほほえみ」は、そのどちらでもないのである。その進化的な由来はともかく、「ほほえみ」は、サルの「遊び顔」とはそれが使われる関係の場が違うから、とうぜんその意味も違うのである。サルに「ほほえみ」に相当する行動がないことは、この行動がヒトに固有であると同時に、ヒトに固有の関係の場で機能するものであることを示しているのである。

(榎本知郎『なぜヒトは旅をするのか』(一部改変)による)

問一 I Ⅲ に入る語として最も適切なものを次のア～オから選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上用いてはいけません。

ア あるいは イ だから ウ つまり エ しかし オ なぜなら

問二 — 線①「このやりとり」とありますが、どのような行動を指しますか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

- ア 見知らぬ相手からの敵意に対し、攻撃するか逃げるかを判断するために身構えて力量を見定める行動。
 イ 見知らぬ場所ですら自分の方へ歩いてくる相手に対し、どのようにすれ違ふべきかを考える行動。
 ウ すれ違わなければならない相手に対し、相手の眼を見るか歯をむき出しにするかを判断する行動。
 エ 自分に敵意を感じさせる相手に対し、身構えたり感情を高ぶらせたりして対抗する行動。

問三 a・b に入る語を本文中から探し、a は二字、b は九字で抜き出して答えなさい。

問四 ――線②「恐怖にかられるのではないだろうか。」とありますが、「恐怖にかられる」のはどうしてですか。「意図」「予測」という二つの言葉を用いて、わかりやすく説明しなさい。

問五 ――線③「石器時代においても、旅人が、よその集団」の人に出会ったら、ほほえみを浮かべつつあいさつしたに違いない。」とありますが、筆者が考える「あいさつ」を説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから選び記号で答えなさい。

ア あいさつはメタコミュニケーションの一種であり、言葉を用いずに相手にメッセージを伝えるための信号である。
イ あいさつはヒトという種に遺伝的に組み込まれた行動のひとつで、意識的なものではなく自然と行われるものである。
ウ あいさつは相手に対して敵意がなく平静な気持ちであることを示しながら、相手との関係を確認する意味を持っている。
エ あいさつは敵対的であったり、親和的であったりしてはならず、ニュートラルなものでなければルール違反となる。

問六 ――線④「アメリカのハンバーガーチェーン、マクドナルドでは、ちゃんと「スマイル」がマニュアルに書いてあるそうだ。」とありますが、「スマイル」が「マニュアル」に書かれている理由について、本文の内容に即して「ことを知らせるため。」につながる形で説明しなさい。

問七 ――線⑤「小さな子供たちがぐるぐる追いかけてくるとき、「キヤッキヤ」と楽しげに笑う」とありますが、このときの子供たちの様子を説明したものとして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 子供たちはぐるぐると走りまわること熱中しており、本来の「追いかけてく」という「遊び」を忘れて笑っている。
イ 子供たちは追いかけることの危険性を理解しておらず、けんかやけがと無関係な「遊び」と判断し笑っている。
ウ 子供たちは相手の楽しげに笑う表情から「遊び」と判断し、自らも「遊び」であることを伝えるために笑っている。
エ 子供たちは追いかけてつかまりそうな状況でも、お互いに「遊び」であると知っているので安心して笑っている。

問八 次のア～オについて、本文の内容と合うものにはA、合わないものにはBを書きなさい。

ア 初対面の相手に平静な気持ちであることを示すためには、穏やかな低音を発して話しかけ、ゆつくりとさりげなく片手を上げてあいさつをする必要がある。
イ エソロジー（動物行動学）では、「ほほえみ」の起源をサルがくちをあげて「はっはっはっ」と声を上げるときの表情から進化したものと考えた。
ウ 見知らぬ人があいさつをすることなく抱きつくという行動がルール違反と見なされるのは、初対面での行動としてそぐわないからである。
エ ヒトの「ほほえみ」とサルの「遊び顔」は、敵意がないことを示す点で似ているものの、使われる関係の場が異なる以上、その意味も違うと考えるべきである。
オ エソロジー（動物行動学）では、サルが見せる「遊び顔」をあいさつの起源と考えたが、ニホンザルが「遊び顔」を持たないことにより否定された。

【三】次の問いに答えなさい。

問一 次の文の「ながら」と同じ使い方をしているものをア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

彼は全てを知つていながら沈黙し続けている。

- ア ニュース番組で涙ながらに訴える女性が取り上げられていた。
- イ 友人の妹は読書家で幼いながら多くの知識を持っている。
- ウ お腹が空いたので宿題をしながらお菓子を食べた。
- エ 美味しい醤油について調べたら昔ながらの製法を守っていることがわかった。
- オ スマートフォンを見ながらテレビを観るのは脳に良くないそうだ。

問二 次の傍線部の述語(述部)に対応する主語を、一文節で書き抜いて答えなさい。

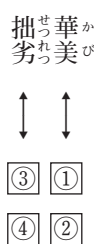
線状降水帯の影響で河川の水位が上昇した時、川の付近の住民は冷静に状況を判断して安全に避難する必要がある。

問三 次の□にア～オのいずれかを入れてことわざ・慣用句を完成させるとき、一度も使わないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- の子を洗うよう
- 青菜に□
- のつぶて
- にかすがい

- ア 芋 イ 塩 ウ 梨 エ 油 オ 豆腐

問四 次の□にア～コのいずれかを入れて対義語を完成させるとき、①～④に入るものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。



- 語群
- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ア 質 | イ 醜 | ウ 素 | エ 高 | オ 巧 |
| カ 約 | キ 妙 | ク 功 | ケ 実 | コ 優 |

問五 次のア～エの文の順序を整えて意味の続きがはつきりした文章にするには、どのような順序にすればよいですか。はじめから順に記号で答えなさい。

- ア AIについても、学習する元となるデータの権利や人間の理解を超える進化など、解決すべき課題が多い点も忘れてはいけません。
- イ スマートフォンで気楽に使えるものもあり、文章やプログラミング、画像や映像作成など、目的に応じた使い分けもなされています。
- ウ これまでの科学技術の発展と同様に、便利さと危険性はもう刃の剣とも言えます。
- エ 近年、私たちの生活のなかでAIを利用する場面が増えており、その流れが加速することは容易に想像できます。

【四】 次の①～⑩について、――線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① ケーキを均等に分ける。
- ② 垂直飛びで記録を更新した。
- ③ 密閉容器で保管する。
- ④ 簡潔な説明がわかりやすい。
- ⑤ 寒さが厳しい時期が来る。
- ⑥ ゴールスンゼンで追い抜かれた。
- ⑦ 人まねではなく一からソウゾウすべきだ。
- ⑧ テンボウで逆上がりの練習をした。
- ⑨ 未知のリョウイキに踏み出す。
- ⑩ マズしい生活でも心豊かにありたい。

國語

得点

--	--

問二	
----	--

問一	I		II		III	
問二						

問三
a
b

問五	
----	--

問六	ことを知らせるため。
----	------------

問七	
問八	
ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	

問一	
問二	
問三	

問四
①
②
③
④

問五
↓
↓
↓

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤
しい	しい

解答用紙

2025
(令和7)年度

国語
東大・医進クラス
2月1日 AM

問一	A ²
	イ
	B ²
	エ
	C ²
	ア
問二	ア ³
	オ ³

受験番号					
座席番号					
得点					

問三 6
図書館で真歩の父が不審者に間違われたことを
千風が伶来に話してしまたのではなかと思ひ不安になつた。

問四 ⁴	ア
問五 ³	ウ
問六 ⁴	ウ
問七 ³	イ
問八 ³	エ

問一	I ²
	ア
	II ²
	イ
	III ²
	エ
問二 ³	ア

問三	a ²
	感情
	b ²
	コミ
	ニ
	ケ
	ー
	シ
	ヨ
	ン

問四 5
相手の行動が見ず知らずの人のとの出会いのときに予測される
ものと違つており、意図が分からないから。

問五 ³	ウ
-----------------	---

問六 6
初対面の人とコミュニケーションを取るとき、敵意がはいくことを示し、
相手の気分を害さずに注文を受ける意思があることを知らせるため。

問七 ³	エ
問八	ア ¹
	B
	イ ¹
	B
	ウ ¹
	A
	エ ¹
	A
	オ ¹
	B

問一 ⁴	イ
問二 ³	住民は
問三 ⁴	エ

問四	① ²
	ア
	②
	ウ
	③ ²
	オ
	④
	キ
問五 ⁵	エ→イ→ウ→ア

⑥ ¹	寸前	① ¹	チんとう
⑦ ¹	創造	② ¹	すいなく
⑧ ¹	鉄棒	③ ¹	みっぺい
⑨ ¹	領域	④ ¹	かんけつ
⑩ ¹	貧しい	⑤ ¹	きびしい